



## 二次選抜（二次募集）

一次選抜（一次募集）の合格者が、入学定員に満たなかった学科・コースで実施します。

調査書と自己表現の得点の合計点により、合格者を決定します。これらに加え、独自検査を実施する学科・コースもあります。その場合は、独自検査を含めた3つの得点の合計点により、合格者を決定します。

### ■自己表現カード

#### 自己表現カード

姓	名
姓	名

① これまで、どのようなことに興味や関心を持って、取り組んできましたか。


② これまで取り組んできたことなどを、高等学校でどのように活かしていきたいですか。


③ 特にアピールしたいことがあれば、記入してください。


現時点でのイメージです。  
正式に決まり次第お知らせします。



## 選抜の方法



### 学力検査

基本は5教科各50点満点

学力検査は、中学校3年間で、どのくらい学力が身に付いているのかをみるため、国語、社会、数学、理科、外国語（英語）の5教科で実施します。一部の学校では、教科の配点が異なる場合があります。

自分が受験する高等学校の「入学選抜実施内容シート」で確認してください。

なお、外国語（英語）の聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの力を総合的にみるための検査を実施することを検討します。

### 調査書

学年間の比重は、第1学年：第2学年：第3学年=1：1：3

調査書は、受検生が通う中学校の校長が作成し、受験する高等学校の校長に提出されるものです。受検生が自分で記入や提出をすることはありません。

調査書には、第1学年から第3学年までの学習の記録（評定）が、5段階で記入されます。対象となる教科は、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語（英語）の9教科です。

一部の学科・コースでは、特色科による選抜で、教科の配点が異なる場合がありますので、自分が受験する高等学校の「入学選抜実施内容シート」で確認してください。

学習の記録（評定）の学年間の比重は、「第1学年：第2学年：第3学年=1：1：3」です。これは、第3学年の評定（得点）を、3倍にするということです。

### 自己表現

「面談」方式で実施

自己表現は、「自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる力」が、どのくらい身に付いているのかをみるために実施します。

自分自身のこと（得意なことやこれまで取り組んできたことなど）や高等学校に入学した後の目標などについて、自分で選んだ言葉や方法で表現します。

自己表現は「面談」方式により行います。礼儀作法や話し方などのテクニクをみるものではありません。

受検生は全員、受検会場で「自己表現カード」を作成します。自己表現カードは、自己表現の補助的な資料で、文章が上手に書けている、文字数が多いなど、自己表現カード自体を評価することはありません。

### 独自検査

学科・コースによって独自の検査を追加

学科・コースによっては、特色に応じて、実技検査や作文などの独自検査を実施する場合があります。

自分が受験する学科・コースで、独自検査が実施されるかどうかは、「入学選抜実施内容シート」で確認してください。

## 新しい入学選抜制度に関する



Q

人前で話すことが苦手です。「自己表現」で不利にならないですか。

A

「自己表現」は、「自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる力」が、受検生に、どのくらい身に付いているのかをみるために行うもので、話し方などのテクニクをみるものではありません。

「自己表現」では、自分の作品や賞状などを持ち込むことも可能ですので、言葉や方法を工夫しながら自分自身のことを表現してください。これからの3年間で、「自分自身のことを理解すること」や「自分で考え、選択し、自分の意志で決めること」、「相手に理解してもらるように、工夫しながら伝えること」などの力が身に付くように、自分の夢や目標を大切にしながら、様々なことに積極的に取り組んでください。

Q

「自己表現」で、賞状やメダル、作品などを持ち込んでよいですか。

A

自分が取り組んできたことや頑張ってきたことを表現するために、賞状やメダル、作品などを持ち込むことは可能ですが、賞状やメダルを獲得したから有利になる、作品を持ち込めば加点されるといったことはありません。

例えば、表彰された成績を残すまでに、どのように取り組んできたのか、これまでにどのような苦労があったのかなどについて、相手にきちんと伝えるように、自分で選んだ言葉や方法で表現できるようにすることが大切です。

Q

なぜ、調査書の第3学年の学習の記録（評定）を3倍にするのですか。

A

高等学校入学選抜は、高等学校の教育を受けるために必要な力が身に付いているかどうかをみるために行います。このため、第3学年の時の力（到達度）をより評価するため、第3学年の評定を他の学年と比べて3倍とすることとしました。

1・2年生の時に、自分の力を十分に発揮していない場合でも、日々の授業や学習活動などを大切に、中学校卒業までに、しっかりと力を身に付けることができれば、自分が希望する進路を実現できると思っています。

保護者・  
教職員の  
みなさんへ

子供たちが「自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる力」を身に付け、発揮していくためには、子供たちが日々成長し続ける場である学校や家庭が、安全で安心な環境であることが大切だと考えています。

広島県教育委員会では、全ての学校において、子供たち一人一人が自分の考えをしっかりと持ち、大切に、先生や友達に心を配って何でも話すことができ、相談することができる雰囲気づくりや環境づくりを進めてまいりますので、御理解・御協力をお願いします。